

もしもの守り、
鉄壁に。



台風やゲリラ豪雨、地震による津波など、さらなる水害対策が求められる日本。河川の氾濫や川をさかのぼる津波から暮らしを守るには、「粘り強い堤防」が欠かせません。そこで、新日鉄住金の「鋼矢板^{そうやいた}」。必要な枚数を組み合わせて土中に打ち込み、「鉄の壁」となって護岸、堤防・岸壁づくりを支えます。堤防の基礎に鋼矢板を用いることで、水の侵入や地下水のしみ込みを防ぐ。さらに、激しい水流にも堤防の土が流されないようにして決壊を防ぐ。水害に強い、安全・安心な街づくりのために。最先端の鋼矢板が日本、そして世界で貢献していきます。